

おおおわ

議会だより

大

第156号
平成31年
4月25日発行

3月定例会

平成31年度予算可決

新年度注目事業 …………… 3

村政を問う

6名が一般質問 …………… 10

キラリ！中学生⑥

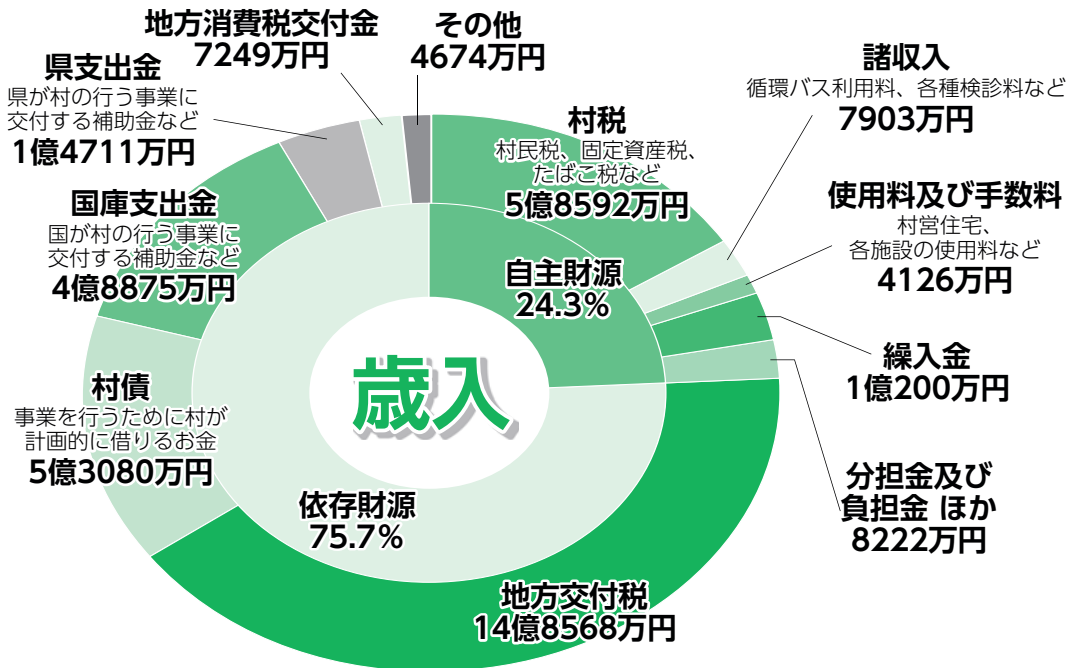
男子バスケットボール部 … 18



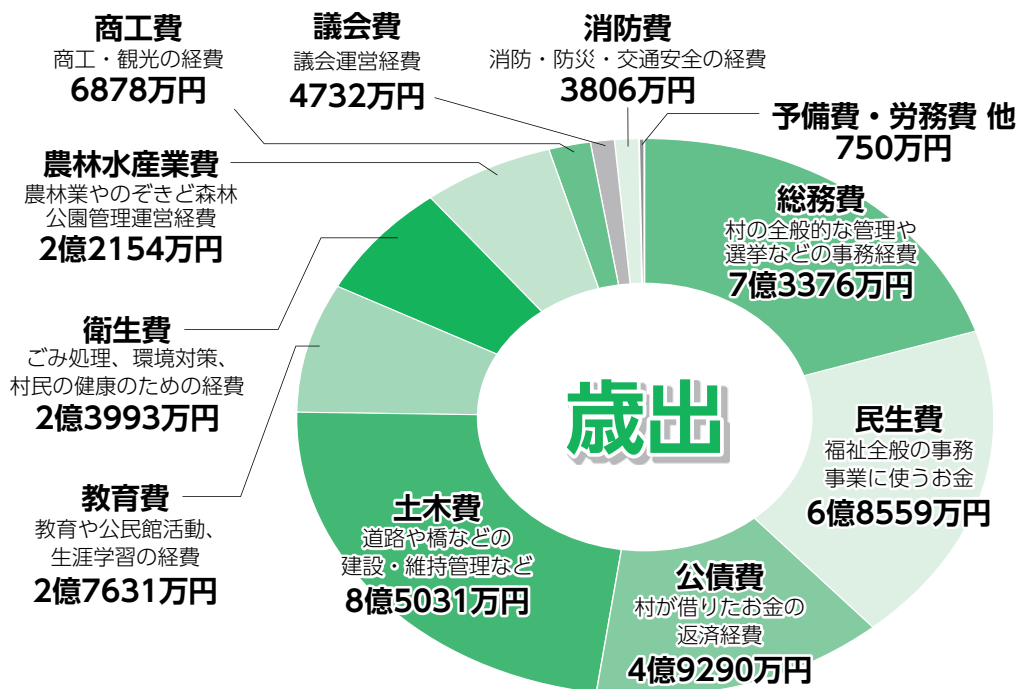
伊奈川福寿草群生地
撮影者：山本克之さん

3月定例会

3月定例会は、3月1日から28日までの28日間の会期で開かれ、諸報告、陳情2件を採択、一般質問（6名10件）が行われた。
村長提出議案は、条例改正等7件、補正予算5件、同意案件1件、新年度予算6件などが上程され、慎重審議し可決した。また、議員発議1件を審議した。



平成31年度一般会計予算 36億6200万円 前年度対比8.7%減



平成31年度 会計別当初予算額

(単位：万円)

合 計	当 初 予 算 額			
	本年度予算額 平成31年度	前年度予算額 平成30年度	前年度比	
			増減額	増減率%
一般会計	366,200	401,300	△ 35,100	△ 8.7
村営水道事業特別会計	23,199	23,725	△ 526	△ 2.2
国民健康保険事業特別会計	37,679	38,163	△ 484	△ 1.3
農業集落排水事業特別会計	9,257	9,692	△ 435	△ 4.5
公共下水道事業特別会計	7,389	8,249	△ 860	△ 10.4
後期高齢者医療事業特別会計	6,580	6,740	△ 160	△ 2.4
特別会計合計	84,104	86,569	△ 2,465	△ 2.8
総 額	450,304	487,869	△ 37,565	△ 7.7

新年度注目事業

新庁舎建設実施設計

スポーツ公園遊具・駐車場整備

保育園エアコン設置



- 新庁舎建設実施設計
- 旧大桑小学校解体
- 新庁舎建設使用材調達
製材・乾燥
- 阿寺溪谷夏季交通規制
(専門スタッフ常駐)
- くわっこ工房
エアコン設置

- スポーツ公園遊具・駐車場整備
- 保育園エアコン設置
(各園児室と遊戯室)
- 子宮がん・乳がん検診無料化
- 産後ケア事業

- 宅地造成事業
(旭町住宅解体・調査)

- 運転免許証
自主返納支援事業
- ウッドガードレール更新
- 蛇抜沢護岸整備
- 門前地区急傾斜崩壊対策事業
負担金
- 橋梁修繕 (小川第2号橋ほか)

- 地域公共交通
(バス・乗合タクシー)
- 窓口申請書作成システム導入
- 大桑橋整備工事 (上部工)
- 大島線・大島中央線改良
- 水道配水管布設
(中尾平線、大桑橋、荒屋沢)

活力ある村
安心・安全

子育て
若者定住

生活向上

当初予算審議

歳入

◆森林環境譲与税

Q どのように充当していくのか。

A 新たな森林管理システムに係る経費に充当するが、平成31年度は具体的使途を定めることが適当でないため、基金条例を制定し、すべて基金に積み立てることにしている。

Q 今後のスケジュールは。

A 平成31年度は業務の受け皿となる広域連携組織の在り方について検討し、組織が動き始める翌年度以降に具体的な作業が始まる。

◆子ども・子育て臨時交付金

Q 10月からの消費税増税に合わせて行う保

育・幼児教育の無償化に対する国の交付金だが、国から示された内容は。

A 総務省からの交付金で、詳しい説明はまだない。平成31年度単年度において3歳児以上の無償化分に交付される。

Q 来年度以降負担を続けるには財源が必要だが。

A 財源については、不確定なところはあるが、村は子育て支援施



保育園入園式の様子

策として今までの形を続けていきたい。

意見 無償化に合わせて、質の高い保育の為に環境整備を進めることを要望する。

◆中尾沢村有林材売却収入

Q 売払いをどのように進めるのか。

A 新庁舎建設に使用する資材調達のため、伐採・搬出を2ヶ年で実施し、庁舎使用材と売却材に選別後、市場の動向を見ながら売払いを進める。

歳出

◆地域景観整備事業

Q 新年度の実施場所は。

A 広域連携事業で木曽川右岸の和村橋上流部分の支障木伐採を行う。

◆乗合タクシー

Q 新年度各家庭に運行表を配布する予定は。

A 昨年度の実績を踏まえ、4月中に配布し5月から新しい体制でスタートしたい。

◆国土調査事業

Q 過去2年測量が行われていないが今後の進め方は。

A 過年度に行った箇所の認証作業を新年度も行う。

Q 土地所有者の高齢化等もありできるだけ測量作業を実施すべきだと思うが。

A 積極的に進めていくべき事業だと認識している。

◆畜産振興事業

Q 和牛の村内飼育農家の状況は。

A 現在23戸。

Q 最近の子牛の市況、TTPによる影響等を含め飼育の見通しをどう見ているか。

A 市況は高値が続いている。輸入品との関係が今後懸念されるため、農協と連携して対応したい。

Q 農家への還元として、有機肥料のトラック等の運搬への補助はできないか。

A 繁殖センターで出た堆肥は余っている状態とのことなので、農協に相談してほしい。

◆阿寺溪谷

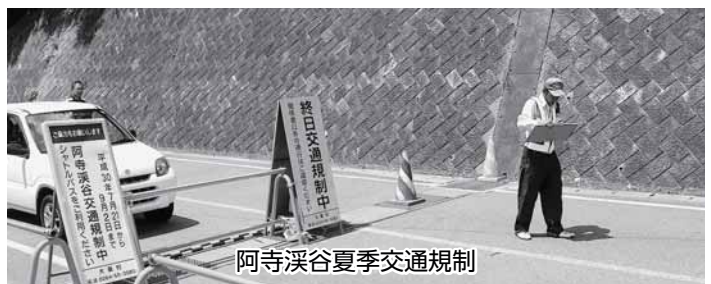
夏季交通規制

Q 連絡手段としてトランシーバーを使用することのことだが、予算措置は。

A トランシーバーのアンテナ設置工事を実施する。

Q 設置予定箇所は。

A 溪谷入口、赤彦駐



阿寺溪谷夏季交通規制

車場、キャンプ場、あてら荘、役場を考えている。

Q 村雇用臨時職員の数。

A 44日間で1日2人の体制で予算計上している。

◆河川維持

Q 今後の異常気象に対応するため、河川を含めた防災対策が重要となる。危険箇所を把握し村独自の予防を含めた計画が必要では。

A 村準用河川で平成29、30年度中河原沢、下在地区の改修を実施した。国直轄砂防事業が上流で行われており、下流を整備している。平成31年度から蛇拔沢河川改修を進め、パトリールにより危険箇所を把握しながら整備したい。

Q 木曽川の増水について、監視カメラの設置予定はないか。

A 木曽建設事務所からの報告で、水位計については、木曽川に5箇所、当村では和村橋に設置することになっている。

Q 伊奈川ダムに測候があるとの報告であつ

たが、伊那川の水位計の設置は。

A 雨量計は関西電力にある。水位計について要望しているが、設置には至っていない。



◆スポーツ公園 遊具・駐車場 整備事業

Q 事業内容は。

A 現在あるテニスコートの半分を駐車場、半分を芝生化する。老

朽化した遊具を撤去し、今と同規模の遊具を設置する予定。

Q 休む場所が少ないとの声を聴くが考慮できないか。

A ベンチと併せ日よけになる施設を検討したい。

◆起債残高

Q 第5次総合計画策定当初、起債残高を40億円位に抑えていたとあつたが、今年度を含めると50億円を超える。今後の財政見通しは。

A ケーブルテレビ光化事業等計画策定当初から変わってきたものがある。今後新たな大型事業が予定されていないため、起債残高は減少していくと考える。

補正予算審議

◆新たな指定管理者は

Q 木材工芸品販売施設（木挽きの里）の指定管理者が辞退したが今後の日程と応募要件は。

A 3月中旬から新たな指定管理者を募集。4月後半には決定したい。木材・木工品の販売・普及・啓発が前提だが、範囲をせばめずその他業務も検討する。

◆乗り合いタクシー

Q 乗り合いタクシーの今年度の見込額は。

A 今年度は試行運転であり、当初予算480万円の計上だったが、利用者が増え、780万円の見込みである。

◆光化事業宅内工事へ

Q ケーブルテレビ光化事業の各家庭へのつなぎ込みが始まっている。留守宅が多く、工期が延びている。カ

会計別補正状況

(単位：万円)

会 計	補正額	補正後の 予算額
一 般 会 計	△2,689	418,378
村 営 水 道 事 業 特 別 会 計	14	24,197
国民健康保険事業 特 別 会 計	△1,101	37,852
農業集落排水事業 特 別 会 計	△ 109	9,201
後期高齢者医療事業 特 別 会 計	△ 137	6,603

フェなどで周知したらどうか。

A 宅内工事は事前に個別連絡したり、広域の広報にも載せているが、カフェやサロンなどに出向いて説明することも可能である。

◆宅地造成地の募集

Q 野尻の大曲宅地造成地5区画の募集はいつからか。村外者への募集方法は。

A 5月より進めている。ホームページの他に「木曽人」に掲載しPRしていきたい。

◆村内企業経営状況は

Q 法人税からみて、村内企業の経営状況をどうみるか。

A 村内自動車関連企業は、傾向としては業績がいいのではないかと設備投資が大きくなれば、そうとも言えなくなる。

こんなことが決まりました

広域化に伴い国民健康保険税率を改定

条例改正

- 職員定数条例の一部改正
業務量の増加及び産休、育児休業職員の補充に対応するため定数を改正
- 資金積立基金条例の一部改正
森林環境譲与税の創設に伴い、森林整備の財源に充てるための基金を新設
- 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正
関係する法律の改正に伴う所用の改正
- 国民健康保険税条例の一部改正
県の国保運営方針による標準税率に基づき税率を段階的に改定

その他

- 過疎地域自立促進計画の変更
所用の事業を追加し計画を変更
- 村道路線の認定
次の村道2路線を新たに認定
中学校線
長野中二路線
- 木曽広域連合ふるさと基金に係る出資金の権利一部放棄
構成町村としての出資金の権利一部放棄

陳情

- 全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出することを求める
陳情者 日米地位協定を見直す会
共同代表 難波希美子
結果 全会一致 採択
- 米軍基地負担に関する陳情
陳情者 戦争をさせない1000人委員会・きそ代表 澤木 政良
九条の会木曽連絡会代表 小松 功
結果 全会一致 採択

人事

- 固定資産評価審査委員会委員の選任
大桑村野尻 丸田富美子氏
同氏の選任に全会一致で同意

発議

- 大桑村議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例
提出・賛成議員 細田 光一
結果 反対多数 否決

お知らせ

議会を傍聴してみませんか

議会は公開が原則ですので、どなたでも傍聴ができます。
傍聴の手続きは、当日に傍聴者名簿へ氏名を記入していただくだけです。
音声告知端末やケーブルテレビの文字放送等で議会の日程をお知らせしています。次回の定例会は6月開催予定です。ぜひお出かけください。

会 社 会
任 委 員
常 任 2月8日
2月26日
3月4日

●職員定数条例を一部改正

●日米地位協定見直し関連の

陳情を採択

◎2月8日開催

委員外議員の出席を求め、全委員出席のもと村担当者から説明を受けた。

▼職員定数条例の一部改正について

庁舎建設室の増員や事業量が増大している中、育児休業を取得する職員が増え、そのための補充を正規職員とするために現行職員定数70名を72名とするもの。

所 感

改正事由について、裏付けとなる資料提出を求めた。3月定例会に於いて慎重審議をしていきたい。

◎2月26日開催

委員外議員の出席を求め、全委員出席のもと村担当者から説明を受けた。

▼平成31年度主要事業について

円滑な予算審議のため、窓口申請書作成システム構築等、所管する課の事業について説明を受け、質疑応答を行った。

▼国民健康保険税の改定について

今後5年間を目途に段階的に県の標準税率に合わせていく等の説明を受け、質疑応答を行った。

▼職員定数条例の一部改正について

前回の委員会で提出を求めた資料により、詳しい説明を受け、質疑応答を行った。

所 感

新年度予算については、住民生活に密着する事業が多く計画されているので、3月定例会において有意義な審議をしていきたい。

国民健康保険税の改定、職員定数の一部改正についても、定例会において慎重審議をしていきたい。

◎3月4日開催

全委員出席のもと、委員外議員・村側から5名の出席を求め、委員会に付託された2件の陳情に関して審査を行った。

▼全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の趣旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出することを求める

審査結果
全会一致により採択

▼米軍基地負担に関する陳情について

審査結果

全会一致により採択

意見の一部紹介

・日米地位協定を盾に公平な裁判が出来ない状況がある。

・全国民共通の最低限の意思として、賛同したい。

・沖縄だけの問題ではなく、国民の命、財産、基本的人権を守るためにも採択すべき。

(報告者 鈴木 武)



総務社会常任委員会（2月26日）

2月26日

●阿寺溪谷夏季交通規制

役場雇用の専門スタッフ常駐

◎2月26日開催

▼平成31年度主要事業について

産業振興課、建設水道課の担当者より説明を受けた。

主な事業

松洲深沢線橋梁下部工整備事業、上在農道新設工事、村道大平線補修工事、村道大野線改良事業、長野中二号線改良事業、村道大島線改良事業、村道大島中央線改良事業、蛇拔沢河川改修事業、村営住宅旭町団地解体工事、大桑橋整備工事については、上部工製作架設工事を進める。

▼阿寺溪谷夏季交通規制について

担当課長から説明を受けた。

交通規制については、昨年度同様に実施する。期間は、7月20日(土)から9月1日(日)まで44日間。規制方法も24時間行い、許可車両も同様。役場雇用の専門スタッフを常駐させ、障がい者への配慮をしていく。シャトルバスは、運行会社と協議し新年度も運行する。村民優待制度は、廃止する。その他木曾川左岸駐車場の有料化等検討中。

▼畜産振興補助について

担当課長から説明を受けた。

畜産農家を対象に畜舎の改修について、補助要綱を制定した。補助率2分の1以内、限度額10万円、4月1日より適用する。

▼公営企業会計の適用拡大について

担当課長から説明を受けた。

国からの通知により人口3万人未満の市区町村は平成35年度までに公営企業会計に移行することが必要なことから、当村においても

所感

簡易水道事業、農業集落排水事業、公共下水道事業について平成35年度までに移行していきたい。

阿寺溪谷夏季交通規制については、昨年度の反省を踏まえより良いものとなるよう当委員会としても検討、提案を行っていきたい。(報告者 沼 友行)



村道大島線改良事業

議会報編集特別委員会報告

議会広報の向上に向け

議会広報研修会

研修日 1月31日
場所 塩尻市総合教育センター

研修概要

「議会だよりの基本と編集」をテーマに、講義を受け、編集方針を明確にすることや企画、割付、レイアウトまでの注意点や写真の使い方、効果的な見出しのつけ方等を研修した。

所感

議会広報の目的は、住民が議会への関心を高め、住民に地域課題を認知してもらうことであるとあらためて確認した。議会基本条例でも議会広報の充実を定めており、今後も、住民に読まれ、審議内容や議会活動が正しく伝わる議会報を目指し努力したい。

(報告者 木戸勘二)



住民の投稿写真を表紙にしていることや、裏表紙の村への思い等で住民を登場させていることについては、開かれた議会広報となっているとの評価を受け

庁舎建設の動き

庁舎建設特別委員会

◎2月26日開催

新庁舎建設に使用する資材調達等について説明を受け協議した。

▼資材調達、製品納入までの流れ

①作業道開設

平成30年度に中尾沢村有林に作業道1000m開設

②伐採搬出

2019、2020年度の2か年で搬出

(約2000㎡)

③選別

庁舎使用材と売却材の選別(庁舎建設製品材積200㎡) 木曽官材市売協同組合で選別

④製材、乾燥

木曽木材工業協同組合で製材、乾燥

⑤保管

借受け倉庫へ納入(和村倉庫)

▼空調について

広い空間(中央ホールを中心としたエリア、多目的ホール、特別会議室)の冷暖房の有効な設備として放射冷暖房(地中熱利用)を検討する。

▼今後の予定

2019年度、地中熱調査業務委託、新庁舎実施設計業務委託、

庁舎建設材の製材乾燥、旧大桑小学校解体工事 2020年度、新庁舎建設工事着手 2021年度、新庁舎完成

所感

今後も新庁舎がよりよいものとなるよう、当委員会として検討、提案していきたい。(報告者 下起幸二)

一般質問

議員6名が 村政を問う

3月定例会の一般質問は13日に6名10件を行いました。
次ページより、質問議員が要約したものを掲載します。

一般質問とは

一般質問は、村が行うすべての事務や事業に関して何でも質問できる大事な議員活動の場です。
年4回の定例会のみで、臨時会ではできません。

• 質問時間は40分

大桑村議会では、議員が質問できる時間は答弁を含め1人40分以内です。

• 一問一答方式

質問は、一つ質問をして一つの回答を得る一問一答方式です。

この方法は、より問題を深められる方法といわれています。

• 事前通告

質問したい議員には、前もって質問内容を記した事前通告書の提出を義務付けています。

長野殿線の全線開通時期は 平成34年度以降



鈴木 武 議員



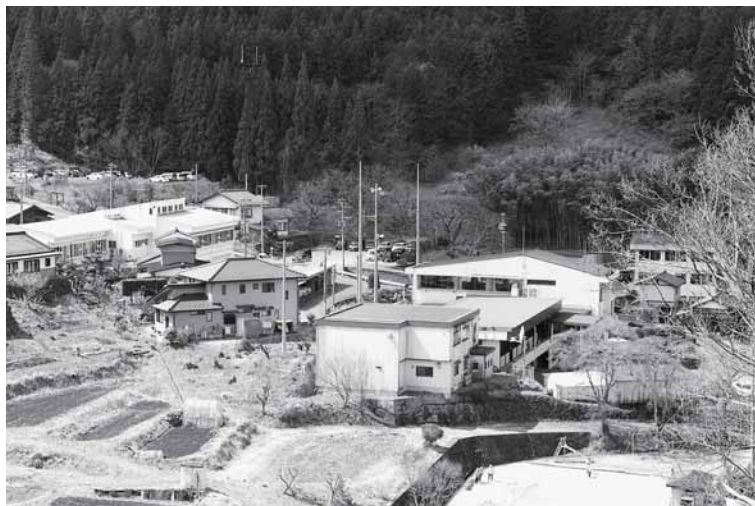
J A 木曾大桑支所移転工事

Q 現在、平成32年度末完成を目指して、新大桑橋建設が行われている。左岸側の道路は、橋完成後も当面の間、現長野殿線を利用して国道19号と接続することになっている。県代行事業である新大桑橋を経由する殿地区までの長野殿線の全線開通

Q 長野殿線改良工事
A 時期はいつ頃か。
平成31年度当初に、地盤調査と上田沢に架かる橋梁の詳細設計を行いたい旨を県から受けた。県事業であるが、国の交付金を利用して行う事業のため、全線開通時期は平成34年度以降となる。

による移転家屋の移転先や補償等に関して、村はどの様な対応をしているか。
A 空き家や空き地の情報提供等のサポートに努めている。
Q 平成31年度から、新庁舎建設に向けた動きが本格化する。アクセス道路に関して、国道19号から新庁舎へは、主に2箇所のルートがあり、その一つは、伊奈川橋交差点を利用したルートである。こちらは、右折車線計画が順調に進んでいる。もう一方の中山交差点側は、道路形状も含めた改良が必要であるが、どの様な状況か。
A J R トネルの土被りが浅くこれ以上掘削ができないため、交差点改良は断念した。
Q 建設費用に関して今秋には消費税増税が予定され、建設労務費や資材単価の高騰も懸

念されるが、基本設計の概算事業費約17億円の変更はないか。
A 消費税のアップ分や資材価格の高騰、工事の分離発注等も考えているので、費用に影響は出ると考えている。
Q 現庁舎の場所は、中部地区では重要な所である。駅前周辺の町



現庁舎周辺の様子

中づくりに向け、周辺住民を交えた、庁舎建設検討委員会に類似する組織を立ち上げる予定はないか。
A 村の財産については、庁内に財産管理について検討する組織があるので、そこで検討していきたい。



古畑 昌夫 議員

森林経営管理システムへの対応は 木曽圏域で受け皿の 検討をしている

Q 第5次総合計画の後半計画に関連して、まず村の障がい福祉計画について聞きたい。

A まだ多くの課題があるが、木曽の自立支援協議会とも連携し、「くわつこ工房」や新しいグループホームなどを拠点にして進めていきたい。



障がい者グループホーム

Q 障がい者の余暇活動、本人や家族の交流の位置づけは。

A 来年度、社会福祉協議会で「希望の旅」を計画している。関係者に呼び掛けていきたい。

Q 厚労省が発表した医師の「偏在指標」によると、長野県は「医

師少数県」で、木曽は坂下病院の診療所化もあり、関係者は「人口減少がいつそう進む」と懸念している。木曽の医師不足の対応は。

A 木曽地域では、町村長、医師会、木曽病院の関係者などで「木曽医療圏地域医療調整会議」をつくり検討・陳情等を行っている。

意見 国の医療費の削減や診療報酬の引き下げが、公立病院の医師不足、過重労働の要因となっている。

Q 森林環境税と経営管理システムの対応はどうなっているか。

A 新年度、経営管理システムが施行され森林環境譲与税が配分される。木曽地域では来年度、圏域の受け皿の在り方を検討し、2020年度から施行できるように検討している。

意見 木曽地域の林業振興につながるように、

みんなに説明する機会を作ってほしい。

Q 国連の「家族農業の10年」に合わせ、小規模・家族農業を守る施策が求められているが。

A 中山間地域等直接支払制度を活用し対応していきたい。

Q 戦前、農協の「家



中山間地域等直接支払制度交付金事業（長野西部地区水路整備）

の光」の発行や農文協の設立にも貢献した、地元出身の古瀬伝蔵さんの足跡を顕彰してはどうか。

A 平成13年に農文協から照会があり、資料もあるが不明な点も多いので調査し、村の資料として保有するか検討したい。

地域おこし協力隊の具体的活用は 新年度で検討したい



細田 光一 議員

地域おこし協力隊の導入について、新年度具体的に取り組むとのことだが、この事業を立ち上げるに当たっては、大桑村にどのような「地域おこし」が必要か、充分検討することが大切である。

地域活性化の事業であり、これを起爆剤として、発展的に継続していくことが求められる。国の補助金がある3年間だけで終了するような事業であってはならない。



空き家を活用した地域おこし協力隊活動施設（南木曽町提供）

業の検討に当たって基本的な考え方や取り組み手法等について伺う。

Q この事業は協力隊に来てもらうのが目的ではなく、何をしてもらうかが重要でそれにより、どのような地域おこし、地域振興事業が必要かを伺う。

A 新年度導入に向けて現在募集要項を調整している。募集する事業内容については、観光事業の情報収集発信や空き家対策、高齢化による福祉対策、6次産業化の検討、村の特産品の開発等の中で検討している。

Q 地域おこし事業立ち上げについて現在最終調整中とのことだが、そこで一つ提案がある。この事業の立ち上げについて、総務課の企画担当で検討するのではなく、若手職員で構成する検討委員会、いわゆるプロジェクト

チームを立ち上げて検討したらどうか。若手職員の育成にもつながると思うが。

A 現在協力隊を選定するに当たり、総務課の企画担当だけでなく他の課とも調整しながら進めているところ。

今提案して頂いた件については案として伺いたい。



地域おこし協力隊によるえごま収穫（上松町提供）



瓜尾美佐子 議員

高齢者の暮らしをどう支えるか 一人ひとりに手を差し伸べていく

Q 高齢化が進む中、健康で住み続けるために、身近な所に仲間が集う場所が必要だ。「ますや」のように空き家を活用して地域のコミュニティを育む居場所づくりを提案する。現在、活用できそうな空き家はあるか。

A 昨年、実施したアンケート調査では83件の回答がありそのうち17名が利活用を検討しており、空き家情報バンクの登録をお願いしマッチングができれば、住宅が必要な方への賃貸や地域のコミュニティなど有効活用を図りたい。



空き家の活用（須原本町集会所）

Q 空家を地域のコミュニティの場として活用した場合の助成は。

A 国庫補助事業としてNPO等民間が実施する場合は事業費の3分の2、村が実施すると2分の1が充当される。今後、検討したい。

Q ひとり暮らしや高齢者世帯の見守りとして、現在は緊急通報装置を設置している。ケーブルテレビの光化に合わせ、デジタル技術を活用した高齢者の見守り事業の取り組みは。

A 光化でサービスは広がる。まだ、具体化の研究は出来ていないが、見守りは強化される。

Q 高齢に伴い、軽中度の難聴者が増えていく。放っておくと認知症になると医学的にも報告されている。木曽町ではすでに補助制度がある。補聴器購入に対する助成を求める。

A 現状では考えていないが、生活に支障を感じた場合は相談いただきたい。

Q 高齢者にとって、安倍政権による社会保障費の削減で介護や医療の負担増、一方で年金は削減され、暮らしに深刻な影響を及ぼす。この上、消費税が10%になったら高齢者の貧困化がさらに進む。高齢者の生活実態をどう見るか。どう支えていくか。

A 年金の少ない65歳以上の高齢者は500人多い。村としては高齢者一人ひとりに手を差し伸べていく。
意見 さらなる施策の充実を求める。



未来を考えるつながりづくり講座

少子化対策の支援は十分か 幅広く支援体制を考えている



沼 友行 議員



大曲宅地造成事業

Q 子育て中の皆さんが大桑村へ移住したいと本気で考えるような施策があるのか。

A 妊娠から出産、産後に至るまでの妊婦及び乳児健診、インフルエンザ等の予防接種の助成をしている。また、保育園では第3子からの保育料の無料化、給食費の無料化と合わせて保護者の負担軽減を

図っている。小中学校においても村独自で教員を雇用したり、給食費の主食分を全額補助するなど、教育の充実を図っている。

Q 定住化対策は、若者に魅力あるものになっているのか。

A 良好な住宅、宅地を確保することは、住民が安全で快適に暮らすための基本的な条件

である。10年間で若者向けの単身住宅施策を含め、38戸の村営住宅と、9区画の宅地造成地を整備している。木造住宅の新築や、改築に対しても補助金を出している。

Q 若者向けに、低価格の家賃で入居できる村営住宅を造れば移住定住が進むのではないか。

A 野尻地区に時期は未定だが、村営住宅を計画している。

Q 農業所得を高めるための農作物は何か。

A ひまわり、南天などの花き、インゲン、トマトなど。また、木曽郡全体で、すんき用の赤カブの生産に取り組んでいる。花きについては、道の駅側として取扱い数を増やしたいと農家をお願いしているようだが、農家側ではそこまで手が回らない状況。取り組みは

所得は増えると思われる。

Q 畜産振興事業についてはどのような対策をしているのか。

A 畜舎の改修については新年度から10万円を限度に補助事業を行う。

Q 血統の良い牛を飼えば高く売れるということなので、血統の良い牛の購入に補助金を出すことはできないか。



JA木曽和牛繁殖センター

A 血統の良い牛が確実に生まれ、良い牛に育ってくればよいが、それは難しいのでなかなか踏み切れない。

Q 観光客が歩いて中山道を通っていく、大島から橋場の観音様が見えるところ（スポット）の支障木の除去は、**A** 現地を確認のうえ対応について検討したい。

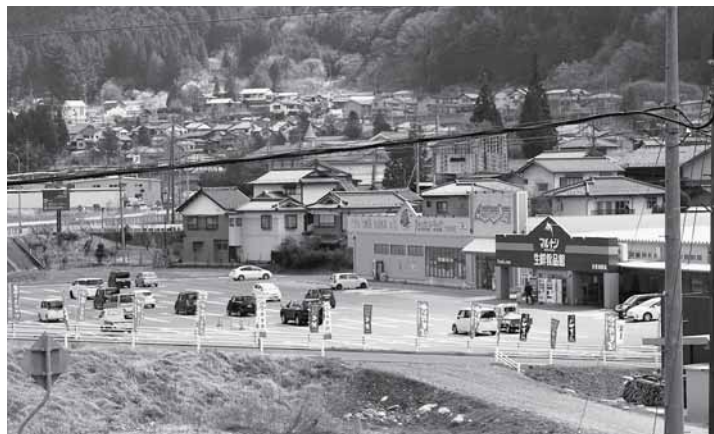


水野 進 議員

これからの公共施設の在り方は 将来を見据え、対応していく

村づくりの原動力は、人を呼び込む、「大型店舗地域」だと思う。児童遊園地再整備も、子どもを遊ばせながら買い物できる環境づくりとなり、若い世代を呼び寄せ、先行き大桑村への移住、定住に繋がる施策だと思う。

Q 公共施設整備に変更に及ぼす変化は。



大型店舗（須原地区）

A 人口減少、施設へのニーズの変化である。
Q 管理上の問題は。
A 老朽施設への対策、更新・新設と維持経費の節減である。
Q 優先事項は何か。
A 施設点検や老朽化対応である。
Q 須原地区館は、連続し、避難所として使われた。準備状況は。

A 当初から避難所使用を想定、発電機等設置している。
Q 施設整備方針に、変化は有るのか。
A 少子高齢化での人口減である。将来を見据え、対処したい。
Q 施設の維持管理、使用計画に変更は。
A 具体的に例示を。
意見 避難所開設時、即、使える状態での維持管理はどうかと質問した。考慮頂きたい。
Q 施設利用や維持管理上の問題と対応は。
A 利用度低下、維持経費増加、所要品の確保や更新、自家発電機、発電機の備品化、機材・備品の点検である。
Q 公共施設の維持整備や使用計画に変更を来たす問題は。
A 具体的に例示を。
Q 施設使用に際し、機材や物品等を、即、使う観点での準備はどうかを考慮頂きたい。



新庁舎建設予定地

意見 管理対象は、多く、維持管理や不用施設処理費も必要となる。国の補助等の活用で進めて頂きたい。また、施設配置の考え方、「3地区同等」は、「地区館」に具現化され、地区要望に対応できる施設となっている。今後は、既存施設の有効

活用を図り、建て替えにおいては、地区特性や立地条件に合った配置、村全体としての均衡配置を考慮する必要がある。
今後も、大型店舗地域は、村に在る、村の「大きな求心力を持つ施設」と捉え、村づくりに活かすことを願う。

木曽広域連合議会報告 第1回定例会（2月27日開催）

第1回定例会が行われ、条例一部改正4件、条例廃止1件、工事請負契約変更1件、補正予算2件、当初予算2件の提出議案全て可決成立した。

条例一部改正4件はすべて2019年10月の消費税率及び地方消費税の引き上げに伴う歳出増に対応するため、使用料等の料金を改正するもの。

一般会計当初予算
ケーブルテレビ光化（FTTH化）事業
実施により
前年度対比
9695万円の増
（主要事業）

●光化（FTTH化）事業
事業費は、11億4615万円を計上
●老人ホーム木曽寮建て替え準備
木曽寮建設基金へ2400万円積立

介護保険特別会計
当初予算
第7期介護保険事業
計画2年度

介護保険事業計画に基づく介護サービス給付費増額により、前年度比1億9713万円の増。

全員協議会
老人ホーム木曽寮
建て替え準備始まる
●し尿収取・浄化槽清掃の現状について

浄化槽法で定められた「保守点検・清掃」の義務化が厳格化されたため、平成30年度の浄化槽清掃量が当初見込みより上昇傾向で推移している。清掃業者へ支払う委託料に「委託料率」が加算されており収入である清掃料金より割高で、赤字となっている。清掃手数料の値上げを前提に清掃委託業者と「委託料率」の低減に向け交渉

を行う。
●光化（FTTH化）事業について
平成31年度事業実施地域は、木祖村2期、木曽町日義全域、上松町全域の予定である。
●老人ホーム木曽寮建て替え
養護老人ホーム木曽寮移転改築に関する提言書の説明報告を受けて、施設規模について、入所定員数は長期

平成30年度補正予算

会 計	補 正 額	補正後の額
一般会計	△6,204万円	39億8,039万円
介護保険特別会計	△ 709万円	42億6,307万円

平成31年度当初予算

会 計	平成31年度	平成30年度	比 較
一般会計	40億6,654万円	39億6,959万円	9,695万円
介護保険特別会計	42億7,505万円	40億7,792万円	1億9,713万円

55床、短期5床。施設床面積は約3000㎡。建設場所は障がい者支援施設「上松荘」の北側隣接地。施設運営は指定管理者制度を導入する。
（報告者 鈴木 武）

松塩筑木曾老人福祉施設組合議会報告

▼2月14日開催

2月定例会は平成31年度予算、平成30年度補正予算等5議案が上程され、審議の結果可決した。

平成31年度予算は、6年ぶりとなる平成30年度の報酬改定により0・54%のプラス改定となり、基本報酬の引き上げと併せ、加算項目も充実する内容となったが、その全てが組合の収益増に直結するものではなく、特にデイサービスの基本報酬はサービス提供の時間区分設定が変更されるなど、減額要素の大きな改定となったことから、当組合に於いては、収入減少となり、更なる施設運営の効率化が求められる状況を背景に編成された。

予算額は46億4000万円で、前年度比5

700万円、1・2%の減となっている。

また、投資的経費及び退職金手当を除いた経常経費は43億8685万円で、前年度比5619万円、1・3%の減となっている。

今年10月に予定されている消費税増税に伴う介護報酬臨時改定は、介護職員の新たな処遇改善加算の創設と併せ、0・39%の増額改定が予定されているが、詳細については不透明であり、今後の動向に注視する必要がある。

全員協議会において、組合の経営状態の改善、組合を取り巻く環境変化に対応するため、今後の経営に関する指針の策定について協議された。

（報告者 細田光一）

議会活動日誌

12 月

- 13 日 12 月定例会
議会報編集特別委員会
- 14 日 12 月定例会
- 18 日 社会福祉協議会理事会
- 25 日 社会福祉協議会評議員会

1 月

- 4 日 新年祝賀会
- 5 日 証明書コンビニ交付開始式
- 6 日 消防団出初式
- 9 日 議会報編集特別委員会
- 16 日 郡議長会・国会議員との
懇談会（～ 17 日東京都）
議会報編集特別委員会

- 17 日 全国森林環境税促進議員
連盟臨時正副会長会議
（東京都）
- 21 日 大桑村商工会行政懇談会
- 31 日 町村議会広報研修会
（塩尻市）

2 月

- 5 日 県林業大学校グレードアッ
プ推進会議報告書説明会
- 6 日 松塩筑木曾老人福祉施設
組合議会運営委員会
（塩尻市）
- 8 日 総務社会常任委員会
- 14 日 松塩筑木曾老人福祉施設
組合議会 2 月定例会
（塩尻市）
- 16 日 砂防懇談会

- 18 日 木曽広域連合議会 議会
運営委員会
木曽広域連合議会 総務
常任委員会・経済観光常
任委員会・福祉環境常任
委員会
- 21 日 木曽森林管理署南木曽支
署落成式
議会運営委員会
駐在所連絡協議会
- 22 日 県議長会第 28 回定期総会
（飯田市）
- 26 日 総務社会常任委員会・経
済建設常任委員会・庁舎
建設特別委員会
- 27 日 木曽広域連合議会 2 月定
例会

行政報告（抜粋）

大桑橋工事の進捗と 今後の予定状況

大桑橋整備工事は平成 28 年度に着手し、今年度は下部工事、上部工事、旧橋撤去工事を発注した。

下部工事は、木曽川左岸側の橋台と橋脚で今年度が最終となり 7 月に完成予定。また、昨年 9 月の台風 21 号で大桑橋が落橋し、トラス部分が仮橋にかかったため、下部工事と併せ撤去工事を実施した。残存する旧橋は 5 月には撤去工事が完成する予定。

上部工事は、30 年度から 32 年度までの継続費で実施し、今年度は橋桁の材料調達と工場製作、31 年度は工場製作を実施し 31 年度後半から 32 年度にかけて橋桁の架設工事と橋面の舗装工事などを実施する。32 年度には右岸

側の護岸工事も実施予定。

県の代行業者で行うアクセス道路は、右岸側である殿地区の地権者 8 人と 30 年度に用地補償契約が整い、31 年度に建物補償契約を締結し工事に着手する見込み。左岸側の弓矢地区は 31 年度から用地、建物補償契約の締結を見込んでいます。J A 木曾大桑支所は、概算補償額提示により現在移転工事を進めている。

大桑支所の移転工事終了後、道路工事に着手する予定。大桑支所以外は用地、建物補償契約が整い次第順次工事を進めていく。

木曽地域ケーブルネット ワーク F T T H 事業

30 年度は、大桑村、王滝村、木祖村の一部で工事が始まっている。大桑村では、幹線の

工事は、河川横断等特殊部分 185 m を残し完了している。宅内への引き込み工事は、村内を 17 のエリアに分け、順次工事を進め 9 月中の完了を見込んでいる。

J R 東日本 3 月ダイヤ改正

昨年 12 月 14 日に公表された J R 東日本のダイヤ改正で松本、新宿間を結ぶ特急「あずさ」の停車本数が塩尻駅をはじめとして諏訪地域の各駅で大幅に減少した。諏訪、伊那、塩尻、木曽地域の経済活動の活性化に逆行するもので、これに対し各地域と共同で、1 月 7 日に J R 東日本長野支社に出向き要請活動を行った。また、2 月 1 日には、国会議員、国土交通省、J R 東日本本社へ要請活動を行った。

キラリ! 中学生 6

大桑中学校 男子バスケットボール部

～勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし～



大桑中学校の男子バスケットボール部は3年生9人、2年生1人の計10人で活動しています。活動は1年中です。練習は平日の部活動の時間と土曜日です。

部活の時間には顧問の佐藤育也先生が教えて下さり、社会体育の時間では外部コーチとして小島良太コーチと高樋勇太コーチが教えて来てくれています。

1学期、2学期と全力で練習をし、秋の新人戦では中信大会に出場することができました。現在は、その試合で出た反省を言葉にす

るだけでなく、行動に移して練習を続けています。また、日々の部活や社会体育で出た反省を「ここがダメだったなら、これからはどうすべきか」などを話し合い、日々の練習の向上に努めています。

男子バスケットボール部の目標は「県出場」です。まだまだ改善していくべき点は多いと思いますが、一人一人のバスケットに対する意識を高め、その目標が達成できるように練習の質を上げ、夏の大会に挑みます。

(3年 庄村琉生)

村への思い⑧

離れてみて

この村の良さがわかりました。

上在 阿寺信司さん



私が生まれ育ったこの大桑村に、妻と小学生の息子と共に移り住んでから、3年が経ちました。正直不安もありましたが、たくさんの方に支えられ、温かく接していただき、とても快適に過ごさせていただいています。助けてもらうばかりで、まだ何も恩返しが出来ていませんが…。

この村のきれいな川の水も、無数に見える夜空の星も、私が子どもの頃には当たり前だと思っていましたが、それが今ではどれだけ貴重で価値のあるものなのか、一度大桑村を離れてみて、よくわかりました。そういういつまでも変わらないものがあると、とても安心することが出来ます。その一方で、時代と共に変わっていかねばならないものもあると思います。近頃やたらと自然災害が起きたり、過疎化が進んだりしていますが、子どもたちの未来の為に自分に何が出来るのか? 無力ながら、自問自答の日々です。

表紙撮影 山本 克之さん(大野)

▼伊奈川福寿草群生地

福寿草群生地を維持管理している山本です。平成28年5月に長野市まで村の公用車で送迎してもらい信州豊かな環境づくり県民会議からの表彰を受賞してきました。私も高齢となり一人での作業は大変ですが、もう少し頑張つて、みごとな黄色のジュウタンを守り皆様に楽しんでいただければ幸いです。

編集後記

▼議会だよりからの感謝。
見やすい、分かりやすい、参加しやすい議会だよりをモットーに進める中、少しでも議会、行政について理解していただくため努力してきました。

力不足もありましたが、4年間村民皆様のご協力で行うことができましたこと深く感謝いたします。

編集委員長 木戸勘一

議会報編集特別委員会

委員長 木戸勘一

副委員長 瓜尾美佐子

委員 沼友行

委員 水野進

大前今朝男